

第 24 回 再生普及行動計画ワーキンググループ

日時：平成 25 年 4 月 23 日(火) 18:00～20:00

場所：釧路地方合同庁舎 4階第三会議室

----- 議 事 次 第 -----

1. 開 会
2. 議 事
 - 1) 2012 年度再生普及行動計画 WG の取組み報告
 - 2) 「ワンダグリンド・プロジェクト 2012」の活動報告
 - 3) 「ワンダグリンド・プロジェクト 2013」の応募状況について
 - 4) 2013 年度再生普及行動計画 WG の活動予定(案)
 - 5) 市民参加イベント「釧路湿原の自然再生に参加しよう！」の促進について(検討)
3. その他
4. 閉 会

----- 配布資料一覧 -----

- ・ 当議事次第
- ・ 再生普及行動計画ワーキンググループ名簿
- ・ 第 24 回再生普及行動計画ワーキンググループ出席者名簿
- ・ 資料 1 2012 年度再生普及行動計画 WG の取組み報告
- ・ 資料 2 「ワンダグリンド・プロジェクト 2012」活動報告
- ・ 資料 2-1 「ワンダグリンド・プロジェクト 2012」活動報告(一覧)
- ・ 資料 2-2 「ワンダグリンド・プロジェクト 2012」報告書作成概要(案)
- ・ 資料 2-3 「ワンダグリンド・プロジェクト 2012」アンケート回答(一覧)
- ・ 資料 3 「ワンダグリンド・プロジェクト 2013」活動予定
- ・ 資料 3-1 「ワンダグリンド・プロジェクト 2013」応募状況(一覧)
- ・ 資料 4 2013 年度再生普及行動計画 WG の予定(案)
- ・ 資料 4-1 2013 年度年間スケジュール
- ・ 資料 5 ワンダグリンド・プロジェクトの活動促進について(検討)
- ・ 参考資料 1 「ワンダグリンド・プロジェクト 2013」応募チラシ

釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会

再生普及行動計画ワーキンググループ名簿

<個人>

- 金子 正美 (酪農学園大学環境システム学部地域環境学科教授)
君塚 孝一 ((有)自然文化創舎オホーツク知床リサーチワークショップ)
清水 信彦
新庄 久志 (釧路国際ウェットランドセンター主任技術員・環境ファシリテーター)

<団体>

- NPO 法人釧路湿原やちの会
釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会
釧路市民活動センターわっと
釧路シャケの会
釧路武佐の森の会
こどもエコクラブくしろ
ボランティアネットワーク・チャレンジ隊

<再生普及小委員会 委員長>

高橋 忠一

<関係市町村>

釧路市 釧路町 標茶町 鶴居村 弟子屈町

<関係行政機関>

- 環境省釧路自然環境事務所
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部
林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林環境ふれあい推進センター
北海道釧路総合振興局
北海道教育庁釧路教育局

<ワーキンググループ事務局>

- 環境省 釧路自然環境事務所
財団法人北海道環境財団

第24回再生普及行動計画ワーキンググループ 出席者名簿

<個人> (出席者 50 音順)

氏 名	所 属
君塚 孝一	
清水 信彦	
新庄 久志	釧路国際ウェットランドセンター主任技術員・環境ファシリテーター

<団体>

所 属	出席者氏名
釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	鈴木 久枝
こどもエコクラブくしろ	近藤 一燈美
釧路市民活動センターわっと	成ヶ澤 茂

<再生普及小委員会 委員長>

氏 名	所 属
高橋 忠一	(個人)

<関係市町村>

所 属	出席者氏名
標茶町 企画財政課	中島 吾朗

<関係行政機関>

機 関 名	出席者氏名
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	西山 理行 大林 圭司
国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 治水課	市川 嘉輝 稲垣 達弘
林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター	網倉 和弘 重光 秀人 川渕 義昭
北海道教育庁釧路教育局 教育支援課	清水 秀紀

<オブザーバー>

所 属	出席者氏名
釧路総合振興局 釧路建設管理部 事業室治水課	曾我部 守嗣
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	畠中 寿明
ワンダグリンド・プロジェクト応募者	伊勢 志郎

<ワーキンググループ事務局>

機 関 名	出席者氏名
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	高見沢 敏男 竹中 康進
財団法人北海道環境財団	久保田 学 山本 泰志 清水 美希

2012年度再生普及行動計画WGの取組み報告

前回WG（2012年11月5日開催）以降、以下の取組みを実施した。（「★」は2012年度に新たに実施した取組み、下線は2012年度の重点的な取組み事項を示す。）

1 行動計画の進行管理、活動支援

■「ワンダグリンド・プロジェクト2012」参加者への活動支援

- ・ メールニュースでの活動発信
- ・ FMくしろへの出演案内
- ・ イベント時、パネル展等での展示、資料配付での紹介
- ・ 活動PRの場の提供(まなトピア)

■「ワンダグリンド・プロジェクト2012」報告書作成

- ・ 2012年度に参加した50団体・個人74取組(協議会含む、資料2-1参照)について、活動報告を作成中。今後、冊子にとりまとめて公表、配布予定。

■ ワンダグリンド・プロジェクト2013活動募集

チラシ、ポスターを作成、配布、広報等を実施し、参加者の募集ととりまとめを行った。



■ フィールドワークショップの実施

第10回「湿原と人の暮らしの境界～凍った川をゆく～」

日 時： 2013年2月5日（火）8:00～15:00

案内人： 新庄久志座長

参加者： 13名

内 容： 土砂流入対策の進められている久著呂川（水路）を歩いて、土砂堆積の伴うハンノキ林とその先のスゲの湿原を観察。



〈アンケートより（抜粋）〉

- ・ 湿原の水位の状況が高い感じがした。又今冬の天候によると思われるが氷が何層にもなっているのか自然のいとなみが感じられた。
- ・ ガイドする人が2～3人いたら良いと思う。説明が全員に届いていない。
- ・ 湿原の中には様々な生き物がいて、水が湿原に大切な役割を担っていることが新庄先生の話からわかりました。
- ・ 毎年参加し続けたいと思います。同時に毎年新しい参加者を増やす工夫をしたらと思います。こんな経験、もったいないから他の人に分けてあげたいですね。
- ・ 湿原の中の水の動きを見て感じる事ができた。自然の状態のハンノキ林を見ることで、自然再生後の目標となる環境の状態をイメージできた。（ハンノキ→ヨシ原ではなく、ハンノキ林→ハンノキ林への再生）土砂の堆積状況を解説で確認できたのが一番の成果でした。
- ・ カヌーで湿原の奥まで行ければまた湿原の違った面が見られると思います。

2 情報発信・普及活動の拡充

2-1 情報発信・普及活動

■★再生普及行動計画通信ホームページの運用と改定

- ・ 行動計画開始（2005年）以来、初めて全面改良を行い、「みんなで進める！釧路湿原の自然再生」と題して1月に公開した。 <http://heco-spc.or.jp/kushiro/>
- ・ 自然再生事業をわかりやすく紹介するために、久著呂川土砂流入対策の実施計画の概要HPを作成し、公開予定 <http://heco-spc.or.jp/kushiro/plan/details/kuchoro/>
- ・ ブログ「自然再生の今！」を運営し、月3回程度更新した



■メールニュースの配信、掲示

- ・ワンダグリンド・プロジェクトの活動紹介を配信中。（メールニュース『ワンダグリнда☆ニュース』の配信: 釧路湿原流域の講座やセミナー、イベント情報、「タクパさんのちよっぴりアイヌ語講座」、「ワンダグリнда応募者ちよこっとおじゃまします！」等の内容で、毎月2回程度配信した。現在の配信先は367ヶ所。
- ・掲示場所が広がらず苦戦している。（ワンダグリнда・プロジェクト推進サポーターは、2013年4月現在44箇所となり、(2012年度新規加入：釧路自衛隊駐屯地)『ワンダグリнда☆ニュース』をはじめ、ワンダグリнда募集ポスター掲示やパンフレットなど各種資料配布、自然再生事業のポスター掲示などに協力をいただいている。

■市町村広報誌、新聞等メディアへの情報提供

- ・毎月釧路湿原国立公園連絡協議会の協力により、関係市町村に情報を配信した。（掲載については各市町村の判断によっており、釧路市には毎月掲載していただいた）
- ・その他、イベントごとに報道機関に情報提供等を行った。

■自然再生事業を紹介する実施計画のパネルを作成(幌呂地区湿原再生)



■ イベントへ出展による情報発信等

- ・ 11/10、11: 「まなトピア 2012」 (主催: 実行委員会) に参加し、航空写真で釧路湿原の大きさを感じてもらおうと共に、クイズで様々な取組が自然再生につながることを伝えた。



3 自然再生の参加の機会づくり

■ 釧路湿原自然再生現場見学会「湿原再生」(幌呂)

- 実施日時 : 2013年2月3日(日) 10時~12時
実施場所 : 鶴居村幌呂地区 湿原再生現場
対象 : 鶴居村民
参加者数 : 9名
実施内容 : 事業の説明後、スノーシューを履いて湿原再生現場と周辺の湿原を散策。湿原クイズ(景品あり)では水温を計測した。
案内人 : 新庄久志さん(湿原再生小委員会委員長、行動計画WG座長)
協力 : 湿原再生小委員会(釧路開発建設部治水課)、鶴居村

<アンケート回答より(抜粋)>

- ・ 湿原はいつもそこにあると思っていたけれど自然と人がせめぎ合い、そしてやはり人は自然の偉大さに気がついた過程を今日知りました。人はやはり賢いです。人たるゆえんです。
- ・ なかなか入れない場所に案内していただいて植物の変化がよくわかりました。
- ・ 普段歩いて見ている風景の中に入れて興味深かった。
- ・ 自然再生の方法や目的、仕組みなどがよくわかりました。
- ・ 昔の湿原にもどれたら夢のようですね。
- ・ 再生作業を早く進めて行ってもらいたいです。



資料2

ワンダグリンド・プロジェクト2012 活動報告

■「ワンダグリンド・プロジェクト2012」参加者への活動支援

以下の活動支援を実施した。

- ・ ワンダグリンド・プロジェクト2012登録証の発行
- ・ ワンダグリンド・プロジェクトロゴマークの配布
- ・ メールニュースでの活動発信
- ・ FMくしろへの出演案内
- ・ イベント時、パネル展等での展示、資料配付での紹介
- ・ 活動PRの場の提供(エコフェア・釧路タンチョウ空港・霧フェス・鶴居ふるさと祭り・まなトピア)
- ・ フィールドワークショップの開催(2回)
- ・ 特典カヌーツアーのご招待
- ★ ワンダグリンド・プロジェクト参加団体間の交流座談会の実施
- ★ 「釧路湿原の自然再生に参加しよう！」イベントへの参加よびかけ
- ・ 報告書の作成、配布

■「ワンダグリンド・プロジェクト2012」報告書作成

2012年度に参加した50団体・個人74取組(協議会含む、資料2-1参照)について、活動報告をとりまとめ、冊子として釧路湿原自然再生事業普及行動計画2012年度の具体的取組として活動状況の発信を予定している。(資料2-2参照)

■参加者へアンケートを行いワンダグリンド・プロジェクトへの意向を伺った。(資料2-3参照)

「ワンダグリンダ・プロジェクト2012」 具体的取組予定（一覧）

資料2-1

※「★」今年度新規参加を表す。

団体名	取組み概要	No
釧路湿原全国車いすマラソン大会実行委員会	第26回釧路湿原全国車いすマラソン大会を実施します	1
太平洋総合コンサルタント株式会社	標茶高校における体験型の環境教育を実施します	2
釧路湿原MTBクラブ	マウンテンバイクで釧路湿原周辺の林道ツーリングを行います	3
シルバーシティときわ台ヒルズ	釧路湿原について学ぶ自然文化講座を実施します。	4
辻野 正	ペーパークラフトで釧路湿原などの生き物を紹介します	5
釧路国際ウェットランドセンター	湿地・生物多様性に係わる途上国の行政官等を対象とした、湿地保全やワイズユースに関する研修を実施します	6
	釧路川蛇行復元現場周辺の環境調査を、地域の人々と一緒に行います	7
	ホームページ、ニュースレター等による釧路湿原の情報発信をします(英語・日本語)	8
	世界湿地の日(2月2日)記念し、湿地を訪ねる「冬のエコツアー2013」を開催します	9
伊勢志郎	来訪者の釧路湿原国立公園来園記念に、折鶴を関連施設に提供します	10
川口 秀人	湿原の動植物や風景の写真をカレンダーやポスターにして多くの人が集まる場所などに掲示します	11
釧路湿原国立公園連絡協議会	温根内ビジターセンターと塘路エコミュージアムセンターで自然ふれあい行事を実施します。また来訪者などに自然解説や情報提供を行います。	12
	釧路湿原に関する情報提供を自然情報誌やガイドブック、ホームページなどで行います	13
	釧路湿原こどもレンジャー活動を実施します	14
	釧路湿原国立公園クリーンデーを実施します	15
釧路湿原マラソン実行委員会	釧路湿原マラソンを通じて湿原のすばらしさを参加者の方に伝えます	16
タンチョウコミュニティ	タンチョウのえさづくりプロジェクトの実施	17
くしろ自然再生解説員	釧路湿原の特徴や自然再生事業などについてボランティアで解説を実施します	18
釧路湿原川レンジャー	釧路湿原の良質な河川環境づくりに貢献します	19
かせいじん	湿原動植物の創作折り紙の製作・展示	20
市立釧路図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター	釧路湿原に関する情報提供及び、関連講座や展示を通じた湿原の紹介をします	21
(NPO)トラストサルン釧路	ナショナルトラスト地の環境保全作業にボランティアの方と共に取組み、湿原やトラスト地の観察会を行います。	22
カヌープロ	カヌーを通じ自然の素晴らしさや釧路湿原の大切さをつたえます	23
釧路ボタニカルアートの会	釧路湿原の植物を描きます	24
アトリエ「アリス」	釧路湿原などの自然を含む釧路地域の素晴らしさを描くことによってアピールする	25
	釧路に自生する植物を使ったアート作品の製作と発表	26
	釧路川周辺の清掃活動を実施します	27
釧路シャケの会	シャケの稚魚の里親募集と放流式を実施します	28
こどもエコクラブくしろ	釧路湿原における特定外来生物の調査(セイヨウオオマルハナバチ・ウチダザリガニ等)防除を実施します	29
沢田建設株式会社	釧路湿原近郊の清掃活動を実施します	30

さとぼん	ホームページによる釧路湿原の魅力や歩き方に関する情報を発信します	31
釧路短期大学	湿原をとりまく地域食材を使用した、学生考案の「咲くさクッキー」を釧路全日空ホテルと連携して販売し、湿原自然再生に還元します(諸活動と収益の一部寄附)	32
イオン釧路店 チアーズクラブ	フィールドや学習会を通し釧路湿原を学びます	33
林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター	「森林アクティビティ講座」の実施	34
	「雷別ドングリ倶楽部」の実施	35
	「お庭で苗木育成」の実施	36
タクパ(ペンネーム)	道東の自然や地名をアイヌ語で紹介します	37
お菓子司 二幸	「湿原まんじゅう」を販売します	38
オカリナ演奏 宮永真智子	オカリナ演奏で協力し釧路湿原に興味を持っていただきます	39
奈良 笹本由文	鶴居村私有林の自然林育成及び調査記録	40
(NPO) 釧路湿原やちの会	宮崎峰清掃登山を実施します	41
(財) 釧路市民文化振興財団(釧路市生涯学習センター)	釧路学教養講座「道東地方の自然と歴史(霧多布湿原を訪ねて)」を開催します	42
	釧路学教養講座「道東地方の自然と歴史(釧路湿原の湧水地を訪ねて)」を開催します	43
	いきいき女性講座「キラコタン岬から釧路湿原を眺めてみよう」を開催します	44
	まなぼつと子ども探検隊「森林と動物を調べる2012」を開催します	45
	湿原ほたる講座「釧路湿原の夜の隠れた風物詩を探ろう」を開催します	46
★ 釧路駐屯地曹友会	細岡展望台整備ボランティアをします	47
(株)FMくしろ	釧路短期大学の西英一教授をナビゲーターにお迎えし、ラジオで湿原の魅力を発信します	48
(NPO) タンチョウ保護研究グループ	タンチョウの保護研究に関する教育普及活動を行います	49
(NPO) 北海道フィシャーズ協会	釧路湿原の清掃活動を行います	50
★ 西村 孝弘	釧路川流域で釣り人が放置していったライン等の撤去、回収をします。	51
(株) 日専連釧路	「日専連釧路フィッシャーメンズカード」利用額の一部を釧路湿原国立公園連絡協議会に寄付します	52
環境コンサルタント株式会社	達古武湖面をカヌーで清掃します	53
	湿原流域で体験型環境教育を実施します	54
環境省釧路自然環境事務所	自然再生事業を行っている達古武地区にて、市民体験調査会を行います	55
北海道阿寒高等学校	「地域巡検」を実施し、湿原や釧路の自然の大切さを体験します	56
(公財) 日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	施設来訪者へのタンチョウの解説をします	57
	学生ボランティアネットワーク組織「F.A.ネットワーク」主催のワークキャンプの受け入れをします	58
	タンチョウティーチャーズガイド(TTG)講習会を開催します	59
	ボランティア・ツアー「グリーンホリデーin釧路～タンチョウの食事場所を整えよう～」を開催します	60

		クリーンウォークを実施します	61
	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	特定外来生物「ウチダザリガニ駆除調査」を実施します	62
		温根内木道定点解説を実施します	63
		食材で作る手作りコスメ、ハーブ栽培の実施	64
	ハートツリー		
	リンク・リング	野生生物へのエサやりの是非の説明をして、人と動物・自然のかかわりについて考える機会を持ってもらう	65
	喜多島 麻鈴	コンサートを通じて、釧路湿原をPRしていきます	66
	★(NPO)環境把握推進ネットワーク～PEG	釧路湿原やそこに生息する動植物を題材とした学習会などの実施	67
	ボーイスカウト釧路第6団 カブ隊	自然観察や自然体験の実施	68
	★酪農学園大学 環境地球化学研究室	釧路湿原における温室効果気体の動態調査、水環境と温室効果気体の挙動調査	69
		49 団体・個人／69取組み	
	釧路湿原自然再生協議会	釧路湿原自然再生協議会や各委員会の情報を発信します(会議公開、HP、ニュースレター発行)	1
		学習会や講演会などを行います	2
		パネル展などを実施します	3
		視察・研修などを受入れます	4
		自然再生に関わる資料を発刊します	5
		50団体・個人／74取組み(協議会含む)	

「ワンダグリンド・プロジェクト 2012」 報告書作成概要（案）

■ 報告書作成のねらい

- 釧路湿原自然再生普及行動計画(以下、「再生普及行動計画」と略)の2012年度具体的取組みの状況を記録する。
- 再生普及行動計画の活動状況を、圏域内外に広く発信し、釧路湿原の保全・再生に向けた多様な活動や参加の機会を多くの人に知ってもらう。
- 新たな取組みを呼びかけ、誘発していくための材料とする。

■ 作成方針

- 再生普及行動計画や具体的取組みが何であるのか分かりやすく説明する。
- 具体的取組みの実行者作成の報告書を基本とし、個々の取組みを統一した書式で編集する。
- 関係者のみならず、さまざまな立場の人に手にとっていただけるよう、デザイン・装丁等に配慮する。
- 印刷物としての配布だけではなく、再生普及行動計画WG通信等のウェブサイトでも公開する。

■ 仕様

- 装丁 / A4判、カラー表紙、本文モノクロ印刷、約100ページ
- 印刷部数 / 1200部
- 発行者 / 釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会
- 発行日 / 2013年 6月上旬

■ 配布に関して

- 釧路湿原自然再生協議会構成員・事務局機関
 - 公共施設、機関 / 釧路管内教育機関(小・中・高・大・専・養護)
 - WG事務局より随時配布(郵送希望者は、切手つき返信用封筒を事務局宛に郵送→配布)
 - 釧路市市民活動センターわっとにて希望者に配布
 - くしろエコ・フェア2013等各イベント
 - WG構成メンバーの活動の中で配布(機会や部数等を事務局にご連絡ください)
- この他、「再生普及行動計画ワーキンググループ通信」WEBサイトで公開する

■ 構成・目次

はじめに

- 発行者代表(再生普及小委員会委員長)名で挨拶文を記載
- 1 ワンダグリンダ・プロジェクトとは
 - 釧路湿原自然再生事業の趣旨、協議会、進行管理の仕組み等の概略を記述
 - 再生普及行動計画作成の趣旨、経緯、進行管理の仕組み等の概略を記述
 - 再生普及行動計画の3つの柱をパンフレット記載レベルで記述
- 2 2012年度具体的取組み(ワンダグリンダ・プロジェクト2012)の経緯
 - 募集からとりまとめの経緯を記述
- 3 2012年度具体的取組み(ワンダグリンダ・プロジェクト2012)取組み一覧
 - 再生普及行動計画のねらい別取組み一覧表を掲載
- 4 2012年度具体的取組み(ワンダグリンダ・プロジェクト2012)の報告
 - 各実施者作成の報告を、統一した書式(2011報告書参照)により編集
 - 各団体の連絡先は個票には記載せず、冒頭に問い合わせ先として事務局を冒頭に記載

参 考

- 釧路湿原自然再生事業の趣旨、協議会、進行管理の仕組み等の概略を記述
- 協議会の構成と再生普及小委員会名簿、再生普及行動計画WG名簿を記載
- 索引(団体・個人別取組み一覧とそのページナンバー)
- ワンダグリンダ・プロジェクト推進サポーターの掲載
- ワンダグリンダ・プロジェクトの活動の様子を掲載

「ワンダグリンド・プロジェクト2012」アンケート回答

資料2-3

質問	ワンダグリンドプロジェクトに参加してどのような成果がありましたか？今後の活動に役立てられそうなことがあれば、あわせてご記入ください。	ワンダグリンドプロジェクト2012で、不満だったことはなんですか？改善すべき点、ご要望などあればお書きください。	今後、ワンダグリンドを活性化するには、どのようなテーマや内容を希望されますか？アイデアがあればお聞かせください。
1	ワンダグリンドプロジェクトと通じて、タクッパさんの存在を知ることができ、2012年4月～2013年3月まで、アイヌ文化を発信することができました。毎月、四季折々の話題をまじえて、楽しくアイヌ文化を伝えていただき本当に感謝です。また、横のつながりが増えたらと思います。	特にありません。	特にありません…。すいません。
2	・釧路湿原にかかわる色々な団体、個人と交流が持てた。 ・上記の交流の中で、釧路湿原に関連する様々な情報が得られた。 ・フィールドワークショップなどのイベントに参加し、当センターの活動にとって有益な情報や発見が得られた。		・「食」「観光」「学び」など、テーマを絞った野外でのワークショップ ・釧路湿原における「次代に伝えたい宝探し」
3	情報の発信はおこなっているものの、訪問者の反応等が分からず、評価が出来ません。	不満だったことは特にありません。	
4	活動のPRになるとともに、参加者の獲得につながりました。イベントを実施する上では、なによりもありがたいことと感謝しています。	イベントなどの告知には、新聞や各市町村広報誌など、依然として紙媒体も効果的です。また子どもや親子向けイベントについては、各市町村の学校に告知できると効果的とも思います。紙媒体での告知ができるようなしくみを作ってもらえるとありがたいと思います。	多くの方々に情報を発信してもらえることが当団体の期待することです。ワンダグリンド自体の認知度をさらに高め、今まで以上に多くの方々に発信してほしいと思います。参加団体と一緒に、道内の各種イベントに積極的に参画し、PRするのもよいかもしれません。
5	イベントについて、ワンダグリンドニュースなどで、積極的に広報していただき、たいへん助かっております。	特に思い当たりません	昨年の協働プロジェクトは初めての参加者も多くあり、とても当団体にとって有効でした。今後も継続して頂きたいです。また、他団体との交流事業などがあると面白いかもしれません。
6	参加されている皆さんの湿原に対する情熱を知り、私も微力ながら湿原の魅力を広めていきたいと思っています。		子供達に湿原の大切さを広めて欲しいと思います。
7	幌呂地区の現場見学会「自然再生のお手伝い企画(ハンノキ調査その2)」、「冬の釧路湿原に出かけよう」では、地元の皆さんに湿原を体感してもらいながら、再生事業を紹介できる機会を作ってくださいありがとうございました。来年度もよろしくお願いたします。	特にありません	ワンダグリンドに参加している皆さん各自が作られた釧路湿原の学習ツールや資料などが、いろいろあると思いますが、それらをHP等に収集し、ワンダグリンド参加者なら誰でも自由に利用、配布できるような仕掛けづくり。

質問	ワンダグリンドプロジェクトに参加してどのような成果がありましたか？今後の活動に役立てられそうなことがあれば、あわせてご記入ください。	ワンダグリンドプロジェクト2012で、不満だったことはなんですか？改善すべき点、ご要望などあればお書きください。	今後、ワンダグリンドを活性化するには、どのようなテーマや内容を希望されますか？アイデアがあればお聞かせください。
8	図書館主催事業の湿原に関するお知らせを、メーリングリストに掲載していただき、周知・宣伝に活用させていただいております。		当図書館には、観光に関するパンフレットを集め、図書館来館者にご自由にお持ちいただくコーナーがあります。釧路湿原や周辺施設に関する、観光パンフレットやリーフレットがあれば、市内外の方々からの好評を得られるのではないかと思います。
9			<ul style="list-style-type: none"> ・全般的に、多少、マンネリ化してきたような感じがする(個人的感想) ・ワンダグリンドの活性化とは、最終的にどのような活動(?)に高めていくのか、具体像が見え難い ・富原小学校でのブースを設けての学習会は、面白い取組みだったと思うが、各団体の横の繋がりが交流がなく、少しもったいないように感じた ・ワンダグリンドの各参加者は、共通の目的の下に集まっているため、個別の活動だけでなく、複数による共同(協働)イベント等を企画してはどうか ・ただ、その場合は、複数だからこそ可能な企画を立案する必要がある
10	いろいろな団体や人達と知り合い地域の人のつながりを感じ、私個人レベルも向上し、新たな作成意欲がわいてきました。	特にありません。	特にありません。
11	一年に一回の定例の行事として企画していますが、今年は更に厚岸の子供達も参加し低学年の子供の参加も増えています。身近な自然である湿原を沢山も子供に知ってもらえるよう企画しています。	事務局の企画がどうしても平日の為、子供の参加ができない。	夏休み、冬休み期間中の企画を増やして欲しい。
12	これまで、全国の一般や学生のボランティアのみと行ってきた「タンチョウの自然採食地づくり」が、地域の子供たちと行いたいと考えていた時に日本製紙クレインズの方たちの協力を得て行えるようにコーディネートしていただき実施できたこと。		
13	皆さんの活動状況情報が大変良くわかる。	特に有りません	カヌーで湿原内部への調査？

「ワンダグリンド・プロジェクト2013」活動予定

■「ワンダグリンド・プロジェクト2013」募集

2月12日～3月12日を集中募集期間として募集チラシを作成（参考資料参照）各施設に配布、また新聞、HP等で広報し「ワンダグリンド・プロジェクト2013」の参加者を集めた。

○総数： 51団体（個人） 78取組（協議会含む）

○新規

- ・愛国幸恵町内会：町内会で特定外来種のパンフ配布による拡散防止の普及
- ・品田 忠さん：木の作品作りから湿原の大切さを伝える
- ・(株)釧路マーシュ&リバー：カヌーやガイドを通して釧路湿原の魅力を発信する

*今WGの終了後「ワンダグリンド・プロジェクト2013」として公開を予定している。

（資料3-1参照）

■「ワンダグリンド・プロジェクト2013」参加者への活動支援予定

- ・ワンダグリンド・プロジェクト2013登録証の発行
- ・ワンダグリンド・プロジェクトロゴマークの配布
- ・ワンダグリンド・プロジェクト普及シールの配布
- ・ワンダグリンド・プロジェクト参加団体間の交流場の提供
- ・メールニュースでの活動発信
- ・FMくしろへの出演案内
- ・ホームページでの取り組み紹介
- ・パネル展等での展示、資料配付での紹介
- ・活動PRの場の提供（エコフェア・産業まつりなど）
- ・自然再生と市民をつなげる場の提供（自然再生参加イベント）
- ・学習、交流の場としてフィールドワークショップの開催（2回）
- ・特典カヌーツアーのご招待
- ・報告書の作成、配布

「ワンダグリンダ・プロジェクト2013」 応募状況（一覧）			
※「★」新規参加を表す。		2013年4月	
団体名	取組み概要		No
太平洋総合コンサルタント株式会社	標茶高校における体験型の環境教育を実施します	9～10月/2～4回	1
川口 秀人	湿原の動植物や風景の写真をカレンダーやポスターにして多くの人が集まる場所などに掲示します	毎月	2
釧路国際ウエットランドセンター	釧路川蛇行復元現場周辺の環境調査を、地域の人々と一緒にに行います	初夏、秋/各1回	3
	湿地・生物多様性に係る途上国の行政官等を対象とした、湿地保全やワイズユースに関する研修を実施します	5-7、7-10月/3回	4
	ラムサール釧路会議開催20周年を記念するイベントを開催します	7月上旬	5
	ホームページ、ニュースレター等による釧路湿原の情報発信をします(英語・日本語)	随時	6
沢田建設株式会社	釧路湿原近郊の清掃活動を実施します	6,7月・10,11月/各1回	7
西村 孝弘	釣りの自警活動の一環として釧路川流域で釣り場周辺で清掃活動を行います	通年	8
釧路駐屯地曹友会	細岡展望台整備ボランティアをします	7月上旬	9
	カヌー教室を実施し釧路湿原を魅力を味わいます	8月～9月	10
タンチョウコミュニティ	タンチョウのえさづくりプロジェクトを実施します	5、9、1月他	11
市立釧路図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター	釧路湿原に関する情報提供及び、関連講座や展示を通じた湿原の紹介をします	随時/1回程度	12
辻野 正	ペーパークラフトで釧路湿原などの生き物を紹介します	随時	13
(NPO)タンチョウ保護研究グループ	タンチョウの保護研究に関する教育普及活動を行います	6、7、1月、随時	14
釧路湿原国立公園連絡協議会	釧路湿原に関する情報提供を自然情報誌やガイドブック、ホームページなどで行います	通年	15
	温根内ビジターセンターと塘路エコミュージアムセンターで自然ふれあい行事を実施します。また来訪者などに自然解説や情報提供を行います。	通年	16
	釧路湿原こどもレンジャー活動を実施します	随時	17
	釧路湿原国立公園クリーンデーを実施します	随時	18
伊勢志郎	来訪者の釧路湿原国立公園来園記念に、折鶴を関連施設に提供します	通年	19
釧路湿原MTBクラブ	マウンテンバイクで釧路湿原周辺の林道ツーリングを行います	通年/月2回	20
環境省釧路自然環境事務所	自然再生事業を行っている達古武地区にて、市民体験調査会を行います	年2回	21
(NPO)釧路湿原やちの会	広域農道クリーンウォークをします	5月中旬	22
(株)日専連釧路	「日専連釧路フィッシャーマンズカード」利用額の一部を釧路湿原国立公園連絡協議会に寄付します	通年	23
カヌープロ	カヌーを通じ自然の素晴らしさや釧路湿原の大切さをつたえます	5月～10月	24
ハートンツリー	地球と体にやさしい暮らしを提案します	随時	25
林野庁北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター	「森林アクティビティ講座」の実施	春・夏/各1回	26
	「雷別ドングリ倶楽部」の実施	通年/5回	27
	「お庭で苗木育成」の実施	通年	28
こどもエコクラブくしろ	釧路湿原における特定外来生物の調査(セイヨウオオマルハナバチ・ウチダザリガニ等)防除を実施します	5月～10月/6回	29
タクツバ(ペンネーム)	道東の自然や地名をアイヌ語で紹介いたします	通年	30

★ 愛国幸恵町内会	町内会員宅に特定外来種のパンフレットを配布し、拡散の情報を提供します	夏/1回	31
環境コンサルタント株式会社	達古武湖面をカヌーで清掃します	6～7月	32
	湿原流域で体験型環境教育を実施します	8～10月	33
酪農学園大学 環境地球化学研究室	釧路湿原における温室効果気体の動態調査、水環境と温室効果気体の挙動調査	7～12月/月1回	34
シルバーシティときわ台ヒルズ	釧路湿原について学ぶ自然文化講座を実施します。	1～3月/1回	35
(財) 釧路市民文化振興財団 (釧路市生涯学習センター)	いきいき女性講座「キラコタン岬から釧路湿原を眺めてみよう」を開催します	7月上旬	36
	まなぼつとシニア講座「釧路湿原～タンチョウと湿原の草花」を開催します	8月下旬	37
	ふるさと講座 湿原ほたる講座「釧路湿原の夜の隠れた風物詩を探ろう」を開催します	7月下旬	38
	釧路学教養講座「霧多布湿原を訪ねて」を開催します	7月中旬	39
	まなぼつと子ども探検隊「仮」森と遊ぼう2013」を開催します	10月12日	40
★ 品田 忠	木の枝の作品造りや展示を通し湿原からの水の大切さ伝えます	木工教室冬/1回、 展示4月～7月	41
★ (株)釧路マーシュ&リバー	釧路川カヌーツーリングや釧路湿原探索ガイドをすることで釧路湿原の魅力を全国、全世界の皆さんへ発信していきます	通年	42
イオン釧路店 チアーズクラブ	フィールドや学習会を通し釧路湿原を学びます	夏か秋/1回	43
釧路シャケの会	シャケの稚魚の里親募集と放流式を実施します	5月	44
釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	クリーンウォークを実施します	4月～11月	45
	特定外来生物「ウチダザリガニ駆除調査」を実施します	4月～10月	46
	温根内木道定点解説を実施します	7月～9月	47
釧路湿原全国車いすマラソン大会実行委員会	第26回釧路湿原全国車いすマラソン大会を実施します	8月24、25日	48
釧路短期大学	湿原をとりまく地域食材を使用した、学生考案の「咲くさクッキー」を釧路全日空ホテルと連携して販売し、湿原自然再生に還元します(諸活動と収益の一部寄附)	通年	49
釧路湿原マラソン実行委員会	釧路湿原マラソンを通じて湿原のすばらしさを参加者の方に伝えます	7月28日	50
お菓子司 二幸	「湿原まんじゅう」を販売します	通年	51
くしろ自然再生解説員	釧路湿原の特徴や自然再生事業などについてボランティアで解説を実施します	5、7、9月	52
釧路湿原川レンジャー	釧路湿原の良質な河川環境づくりに貢献します	6、8、9、1月	53
(株)FMくしろ	放送を通じて湿原にまつわる四季折々の話題を発信します	通年(毎週月曜日)	54
奈良 笹本由文	鶴居村私有林の自然林育成及び調査記録	随時	55
(NPO)北海道フィッシャーズ協会	釧路湿原の清掃活動を実施します	5、10月	56
リンク・リング	野生生物へのエサやりの是非の説明をして、人と動物・自然のかかわりについて考える機会を持ってもらう	通年	57
北海道阿寒高等学校	「地域巡検」を実施し、湿原や釧路の自然の大切さを体験します	9月	58
(NPO)トラストサルン釧路	ナショナルトラスト地の環境保全作業にボランティアの方と共に取組み、湿原やトラスト地の観察会を行います。	5～11月/5～6回	59

(公財)日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウ サンクチュアリ	施設来訪者へのタンチョウの解説をします	10月～3月	60
	学生ボランティアネットワーク組織「F.A.ネットワーク」主催のワークキャンプの受け入れをします	8月、2月	61
	タンチョウティーチャーズガイド(TTG)講習会を開催します	12月	62
	ボランティア・ツアー「グリーンホリデーin釧路～タンチョウの食事場所を整えよう～」を開催します	10月、2月	63
	タンチョウの冬期自然採食地を守ろう	6月～9月	64
ボーイスカウト釧路第6団 カブ隊	自然観察や自然体験の実施	通年	65
喜多島 麻鈴	コンサートを通じて、釧路湿原をPRしていきます	随時	66
さとぼん	ホームページによる釧路湿原の魅力や歩き方に関する情報を発信します	通年	67
釧路ポタニカルアートの会	釧路湿原の植物を描きます	週に1度	68
アトリエ「アリス」	釧路湿原などの自然を含む釧路地域の素晴らしさを描くことによってアピールする	通年	69
	釧路に自生する植物を使ったアート作品の製作と発表	通年	70
	釧路川周辺の清掃活動を実施します	随時	71
(NPO)環境把握推進ネットワーク ～PEG	釧路湿原に生息する希少動植物や外来動植物に関する、学習会や講演会の実施	2～3回	72
	50 団体・個人／72取組み		
釧路湿原自然再生協議会	釧路湿原自然再生協議会や各委員会の情報を発信します(会議公開、HP、ニュースレター発行)	通年	1
	学習会や講演会などを行います	随時	2
	市民参加の見学会を実施します	随時	3
	パネル展などを実施します	通年	4
	視察・研修などを受入れます	随時	5
	自然再生に関わる資料を発刊します	随時	6
	51 団体・個人／78取組み(協議会含む)		

2013年度再生普及行動計画WGの活動予定（案）

以下、「◎」はWGメンバーと事務局で実施するもの、「□」は事務局が行うもの、「★」は2013年度の新たな取組みを示します。下線は今年度の重点的に取り組む事項をそれぞれ示しています。

1 WGの開催と行動計画の進行管理、活動支援

行動計画の進行管理、参加者の活動支援、活性化に向けた取組みを行う。

- ◎ 行動計画WGの開催： 2回程度開催(4月23日及び11月頃の2回を予定)
- ワンダグリンダ・プロジェクト2012活動報告書作成
- ワンダグリンダ・プロジェクト2013の進捗把握、活動支援
- ワンダグリンダ・プロジェクト2013参加登録証及びサポーター登録証の発行
- ワンダグリンダ・プロジェクト関連者に普及シールの配布(参加者意識の向上/応募の魅力(釧路湿原の保全活動取り組みのラベルとして))
- ◎ ワンダグリンダ参加団体間の交流の促進
- ◎ フィールドワークショップの開催(2回実施予定)
(1回目:7月10日(水)湿原再生の始まる達古武湖周辺、2回目:次回のWGで検討(1月～2月を予定))
- ◎ ワンダグリンダ特権カヌーツアーの実施

2 情報発信・普及活動の拡充

2-1情報発信・普及活動

第2期行動計画の重点分野「釧路湿原を知る・楽しむ・学ぶ」を広げていくため、多様な活動を発信していく。

- ◎ メールニュースの配信(□)・掲示(◎)(月2回程度)
- ◎ (市町村) 市町村広報誌への情報提供、記事掲載
- ◎ FMくしろ「ゆうゆう湿原塾」への出演
- ◎ イベントへの出展、パネル展の開催等(□)、協力(◎)
(ときわ台ヒルズ、まなトピア2013、祭り等を予定)
- ◎ メディアへの発信、参加の働きかけ

- ◎ 知名度アンケートの実施
- ◎ 「自然再生ブログ」で自然再生事業の動きを伝える
- 釧路湿原自然再生事業実施計画概要版HPの作成
(幌呂地区湿原再生、達古武湖自然再生)

3 自然再生の参加の機会づくり

第2期行動計画の重点分野「自然再生に参加する・行動する」の機会を創設する。

- ★「釧路湿原の自然再生に参加しよう！」イベントの実施
- ★他小委との連携による、実施計画ごとの市民参加の機会づくり
- ◎市民活動(ワンダグリンド)による自然再生への取り組みを促進させる
 - * 今年度は各小委員会に呼びかけ市民参加の機会を増やすとともに、昨年実施の成果、反省を踏まえ、今年度版の「自然再生へ参加の機会」の創出を図る
- ★自然再生事業の地元向け見学会
(土砂流入対策(久著呂川)1回、水循環小委員会1回の実施を予定)
 - * 昨年実施の幌呂地区湿原再生現場、達古武地区森林再生現場は各担当小委員会が実施し、普及小委員会はサポートとして協力する。

市民参加イベント「釧路湿原の自然再生に参加しよう！」 の促進について(検討)

行動計画ワーキンググループでは再生普及行動計画が2010年より第2期となったことにあわせ、湿原に関心をもつ人を増やす《知る、楽しむ、学ぶ》から《自然再生に参加する、行動する》ことに重点をおき、取組を進めています。

行動計画の3つの柱

- 1・釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ
- 2・自然再生に参加する、行動する
- 3・地域と関わり、人をつなぐ

「自然再生に参加する、行動する」を促進する取組のひとつとして、昨年度「釧路湿原の自然再生に参加しよう！」市民参加イベントを実施しました。

2012年度「釧路湿原の自然再生に参加しよう！」の概要と反省

- ・2012年6月～8月を「釧路湿原自然再生の集中期間」に位置づけ、一般市民が釧路湿原の自然再生に参加できる機会を設け、集中広報した。
- ・ワンダグリンダの応募者に働きかけ、ゴミ拾い、ウチダザリガニなど外来生物の防除、植林作業、自然再生事業の成果モニタリング、タンチョウの冬の採餌場整備、ボランティアガイド養成、募金活動など、12の活動が行われた。
- ・いくつかの取組に日本製紙クレインズと連携することで、PR活動や今まで湿原に関心を持つ機会となった。
- ・ワンダグリンダの応募者同士が連携することで、新しい取組やつながり強化につながった。
- ・昨年の反省点としては以下が上げられる。
 - ★取組によっては参加者が少なく、また新しい層の人の参加は少なかった。
 - ★一部取組では、どのように釧路湿原の自然再生につながるのか、参加者が理解できなかった。
 - ★募金活動やボランティアガイドが自然再生にどのようにつながるのかわかりにくく、イベントの趣旨がぼやけている。

今回のWGでは実施を予定している「釧路湿原の自然再生に参加しよう！」の市民参加イベントについて、検討していきたいと思います。

《 本日のワークショップ議題 》

釧路湿原の自然再生に参加しよう！』イベントにより、市民の自然再生への参加が活発化するためには、どのように工夫すれば良いか。

○イベントの広報について

→どのような方法で広報や連携を行えば、今まで釧路湿原に関心を持っていなかった人達により多く、参加してもらえるのか。

○自然再生に参加しているという意識づけについて

→一般参加者に自然再生に参加しているという認識を持ってもらうためにはどのようにすれば良いか。

なお、今年は同イベントを以下の内容で進めていく予定。

- ・ワンダグリンダの取組に加え、自然再生協議会の各小委員会(または再生サイト)での市民参加の取組を新たに加える
- ・直接自然再生に関わる取組(清掃活動、植林活動など)と、間接的に自然再生に関わる取組(募金活動、情報発信)、自然再生現場の3つの見学会のカテゴリーを分けて広報する。
- ・集中期間を6～9月に延長する。